

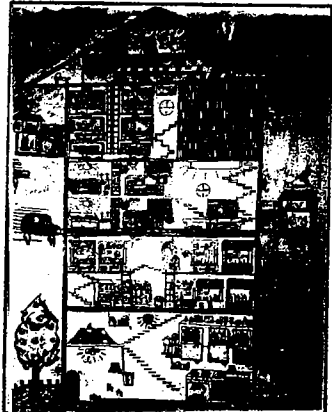
ふかまのまど

発行元 深町内会連合会
連絡所 六三三八八二

おめでと

文部科学大臣 奨励賞受賞

天木美菜見さん(深小
学校六年生)の「未来の家」と
いう図画の作品が、第二十一回
全国児童画コンクール(毎日新
聞社主催)で、全国から約三十
万点の応募があったなかから
最優秀の賞に選ばれました。
天木さんの作品が載ったポス
ターがスーパーフレスタに貼ら
れています。



町内会連合会活動報告

深町教者会の開催

例年どおり十月の最終日曜日
の二七日に開催しました。
今年七五才以上とされる一
一五人の対象者の中で四二人の
出席予定でしたが、体調不良等
で四人が欠席され、三十八人の出
席でした。
出席者には、お弁当とビール
等の飲物を出して懇談したり、
演芸を楽しんでいただきました。
又、記念品の膝掛けと年令順の
名簿を配り、昨年から始めた記
念写真も撮影し、後日配付しま
した。

出席されなかった方にも、記
念品と年令順の名簿を届けまし
た。
演芸種目が小学生の歌と踊り、
女性の歌と踊りと少なかったた
ので、秋祭りに招いたともしび
劇団に三〇分ばかり歌とコント
をお願いしました。
本年も女性の全面的なご協
力を頂いて無事終了することが
出来ました事を感謝していきま
す。高齢者の方々がいままでお
元気で生きがいを持ったれるた
めの一助として、大勢の方に喜ん
で出席して頂ける敬老会であり
たいと念願しています。▲▲
(事務局)

如水館五年連続優勝

十一月三日(日)、県北の西城町
で行われた第十九回高校女子
駅伝競走大会で、如水館女子は、
一時間十三分五秒の好タイムで
優勝した。
五年連続五回目の快挙で、師
走二十二日(日)に都大路で行わ
れる全国大会が楽しみ。
尚、昨年初優勝だった男子は、
第三位に終わった。

尚寿会報告

会長 幸谷 満夫

ゲートボール大会参加

十一月十二日(火)、本年度最
後の大会である三原市選手権大
会に参加しました。
第一試合の西野Dには二五対
一三と完勝しましたが、第二試
合の新生会とは一三対一三の同
点でしたが、上がりの差で惜敗
しました。▲▲

子ども会だより

☆ソフトボール 第三位☆

一回戦 深町四―二小坂
二回戦 深町三―一南小
準決勝 深町〇―四三原
パワーズ



★冷蔵庫「寄付のお願い」★

町民会館長 梶谷和伸

町民会館運営につきましては
平素より格別のご協力ご支援を
いただき感謝しております。
ところで、町民会館に備え付
けてある冷蔵庫が故障し、使用
不能となっており皆様に大変ご
迷惑をおかけしております。
つきましては、皆様のご家庭
で古い冷蔵庫で結構です。当
会館へご寄付頂けないでしよ
うか。

梶谷(☎64-9038)ま
でご連絡頂ければ有難く存じま
す。ご無理を申し上げますが、
なにとぞよろしくお願います。
▲▲

◎深小だより◎

地域参観日

深幼稚園・小学校では十一月
七日(木)に、昨年に続き第二
回の地域参観日を行いました。
十時から体育館で学校紹介を
し、その後、三・四校時の授業
を見ていただきました。
昔の遊びの体験、読書ポラン
ティアによる読み聞かせ、英語
活動やパソコンを使った学習
福祉についての学習など、ボラ
ンティアの先生の協力を得て
だんだん少しく違った学習をみ
ただくことができました。
平日の午前中という事で参加
しにくかったのではないと思
います。保護者のみなさんのみ
なさん保護者のみなさんにき
いたいただき感謝しております。
子どもたちにも、とてもよい励
みになりました。又、アンケート
にも答えていただきました。ご
ざいました。

さいしよせんせいへ

(一年)ふじわら(さや)
わたしが本がすきだから、ど
れの本があつたらよみたいで
す。
(二年)みやなが(まほ)
「だれのおんじや」のおは
なしかつてもおもしろかつた
です。どつてもおもしろかつ
たのでおもしろかつたので
いたのでもおもしろかつた
のでおもしろかつたので

高崎 修先生へ

(六年)直井(未萌)
十一月七日には私たちのため
に獅子頭まで持ってきたり、あ
りがとうございました。あ
なたが江戸時代からあつたこ
とを教えてください。
太鼓の音も教えてください。
これからはいろいろな教えてく
ださい。

地域参観日に参加して

時講 安藤志穂

「これは誰の自転車？」の問
かけに「いもむし!」「カンガ
ルー!」と元気いっぱい。次々



深町各種団体十二月行事予定

- ◆小学校・幼稚園
 - ▼みどりの少年団植樹祭 八日
 - ▼第二回廃品回収 十一日
 - ▼個人懇談会・学区児童会 十二日
 - ▼PTA役員会 十三日
 - ▼城山登り 二十日
 - ▼終業式 二十日
 - ▼消防団 二七、三一日
 - ▼歳末夜警 二七、三一日
 - ▼女性会 上 第三水曜
 - ▼親睦会 中 第一月曜
 - 下 第二日曜

展望席

先日深小卒業生のクラス会
を催し、深小時代の懐かしい思
い出に話が尽きる事がありま
んでしたが、現代の若者のこ
とについても話題が及びました。
Aさんの息子が経営
する会社では、つっぱつ
ている若者を積極的に
雇用しているが、彼らは
実に良く働き一生懸命
仕事をすると。
彼らは親(不行跡、背信行為)
に反抗し、つっぱつているので
あつて、社会に対して反抗して
いるのではない。彼らはそれな
りに信念をもっているという。
そういえば、阪神大震災のと
き、被災者の救護等にあつた
茶髪の若者達が目を見張る活躍
をしたという話を聞いていま
す。彼らは純真な正義感や情熱
を持つているからこそ活躍で
あつたと思ひます。
そのAさんの息も一時暴走
行為等で警察のお世話になつた
ことが何度かあつたが、親(A
さん)が子供を愛し、理解し、
同じ目標で子供に励まし、立ち
直つたとのことです。そして、
現在立派に会社を経営している
のです。
「見かけだけで判断しない」「親
(大人)の対応次第で子供も変
わる」。改めて反省し、自戒しな
ければと思ひます。



正解で、子どもたちの想像力と
いろいろな動物の特性を的確に捉
えていることに驚きました(私
は全然分りませんでした)。
三年以上での調べ学習では、
深町のことを細かく調べ自分た
ちの体験や感想を交えての発表。
自分の育つ地域のことを調べて
いく過程でたくさん大切なこ
とを得ていると感じました。
親としては学ばせることに力
を注ぎがちですが、エネルギー
と可能性のかたまりの子ども達
からいかにそれを引き出すか、
ということの大切さを痛感しま
した。▲▲

広島県の自然 (11)

元深小学校長 山田 義孝

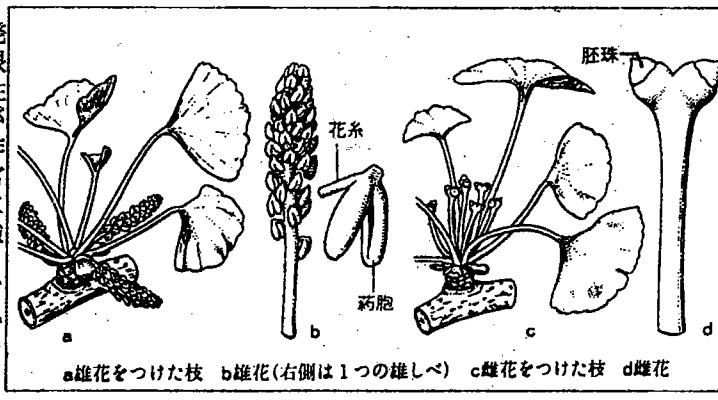
「イチヨウ」

公孫樹散る
遠くは風の音すれば(風生)

秋を彩ったイチヨウもすっかり葉を落とし、冬の到来を知らせてくれている。なじみの木だが、植物学上では貴重な存在である。

一科一属一種で、原産は中国東部だが、野生は少ない。日本へは仏教の伝来に伴って渡来したらしい。江戸元禄時代に日本へ来たドイツ人のE・ケンペル(一七一六年没)によってヨーロッパへ紹介され、世界各地に広まったとされている。

生きた化石ともいわれ、古生代二疊紀(二億九千万年前)に生まれ、中生代のジュラ紀(二億一千万年前)一億四千万年前)に全盛となり、化石学上では少なくとも一二種があったと推定されている。新生代第三紀(六千五百万年前)に北方から氷河が来襲し、気候が寒冷となり地球上の植物は大半絶滅し、イチヨウ属の多くの種も絶滅した。だが氷河時代でも中国南部の気候は温暖であったため、ここにあってイチヨウ一種のみは死滅を免れたのである。



a雄花をつけた枝 b雄花(右側は1つの雄しべ) c雌花をつけた枝 d雌花

発根性が非常に強く、かなり太い枝でも挿し木が可能であることから、日本では布教僧が寺院建立の地に旅の間使っていたイチヨウの生枝の杖を突き立てたものが根づいたという説もあるほどである。種子の銀杏も乾燥させなければ発芽率はたいへんよく、苗も丈夫である。第二次世界大戦後、一面焼野原となった東京で、一番初めに芽吹いた木がイチヨウであるというコルク質の厚い樹皮と発根性、萌芽性がこの木を今日まで生き永らえさせたのだらう。

御調坂物語 (9)

石井 静夫

高平ダムと竜泉寺ダムとの別れ

魚切から登って行く途中に高平ダムがある。

ここに、中国自然歩道の大きな標識(環境省・広島県設置)があり、各地を結ぶ距離、標高、名所旧跡などが詳しく案内されている。又、ベンチも置かれ、一服する場所になっており、分岐点である。

北に向えば、辻堂から御調八幡宮を経て佛通寺に至る。

東に向えば、竜泉寺ダム、尾道市木ノ庄町、原田町梶山田の摩訶衍寺で、このコースはいずれも中国自然歩道で登り下りの多い険しい山道であるが、よく整備されて歩き易く、各地の山岳会の練習用に又、各団体が部分的にハイキングコースとして利用している。

竜泉寺ダムは、いつも満水の状態で水は濃く、山と森と調和して美しい眺めである。

このダムは、当初東尾道へ農業用水を送るために計画。

難を解決するため、東尾道の土地約百町歩(百ha)を干拓し米作りをしようとした。そして、それに必要な農業用水を確保するためにダムを造った。

雌雄異株で、雌株にできる種子が銀杏(ぎんなん)である。開花は四月五月で、花粉は風で遠くへ運ばれる。受粉後種子が成熟する前の九月ごろ受精するイチヨウの受粉、受精過程の観察によって種子植物における精子の存在を初めて発見したのは平瀬五郎で一九九六年(M二九)であった。これにより、種子植物でありながら、シダ植物に近い原始的な特徴をもつ裸子植物の存在が証明されることになった。その木は今も小石川植物園に巨木として残っている。

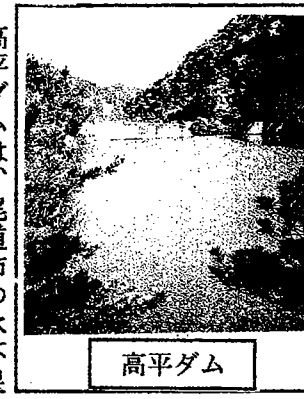
イチヨウの語源は「一葉」による説、「鴨脚」の中国音ヤーチイオより転訛したという説、「銀杏」の唐音による説がある。漢名の「公孫樹」は、孫の代に漢朝に実る樹という意味で結実までに年数を要することによる。

見慣れた木にも、長い歴史や多くの特徴があることをイチヨウは教えてくれている。

今回で連載を終わります。機会を与えてくださったことに深く感謝いたします。深町のますますの発展を心よりお祈りいたします。

ところが、昭和四十年代に入り、米余りとなり、干拓から埋め立てへ計画は変わり、現在東尾道は御調地になっていく。

竜泉寺ダムは、干害に苦しんで来た三成、西藤の水不足を一手に解消し、一部は浄水にして向島、因島へも送水しているという。



高平ダム

高平ダムは、尾道市の水不足の解消にと太郎谷坂谷の水と併せて取水計画をしたもので、県に働きかけ砂防ダムとして築堤し、それを利用して用水ダムとした。

水利権の問題など紆余曲折はあったが昭和二九年(一九五四)に完成し、およそ五十年の歳月が過ぎた。

ダムが出来るまでは、各田んぼの井戸には「はねぎ」が林立した。早魃の歳、朝夕汲取りに苦勞した先人たちの姿が偲ばれる。

高平ダムは慢性的な水の心配を解消した。太古より干害に苦しんできた地元は、計り知れない恩恵に浴しているといえる。

このダムを取り囲む御調坂の山々こそ「緑のダム」と私はいたい。

緑に覆われる山々から除々に流れ出る一滴の水も大切に利用し、又雨が降れば、天の恵みに感謝することを忘れてはならない。

次号 魚切と特産物

三原市民体育大会今昔

町内会連合会 事務局 高崎 修

本年の市民体育大会に深町は久しぶりにBクラスとして出場した。成績は僅か四点差で再びCクラス転落となったことは非常に残念なことである。

しかし、Bクラス定着に必要な力を今一步の所まで積み上げて来たという手応えを感じるのとが出来たことは大きな収穫と言えよう。

この際過去の状況を振り返ってみたいと思う。

一、体育振興会創設期
昭和五〇年代初めに、市民体育大会出場を目指して体育振興会が結成された。初代会長萩原進氏や続く原田章八・志水孝則・平岡功一・新内良春・北迫良和・寺田弘氏ら歴代会長時代を通じて、役員選手の奮闘にも拘らず成績はCクラスの下位が定位置であった。

三原市民ビーチボール バレー大会のご案内

町内会連合会 体育部長 広川弘之

次の通り大会が行われますので参加希望者は連絡してください。

一、日時 平成十五年一月十二日(日)九時より

二、場所 リージョンプラザ体育館

三、出場選手
小学生の部(各一チーム)
一般女子の部(20才以上40才未満)
一般男子の部(20才以上40才未満)

一、監督(20才以上40才未満)
二、選手(20才以上40才未満)

五、締切 十二月二十日

四、連絡先 広川弘之(電話63-2519)

成績不振となると選手集めにも難渋することが多く、特に多感な中学高校生には拒否されることも多かった。このため六年生は中学生として走り、小学生チームは五年生が中心だった。

三〇代が二〇代で走ることも多かったが、当時は中学生から二〇代の男子は二〇〇メートルと決まっていたので力の差は更に開く状態だった。総合リレーでは一周以上も引き離されることも多かった。

二、その後の推移
成績が低迷すると「市民体育大会出場辞退」の声が度々持ち上がったが、会長役員の説得で何とか出場だけは継続した。他の弱小地区でも同様であったのか脱落する地区が出る中で深町の連続出場は一定の評価を得ていた。

一〇年代前には初めてBクラスに昇格したが殆どBクラスの最下位となり、Bクラスの壁の厚さを味わうこととなった。

その後、体育振興会は町内会連合会体育部に組織替えして現在に至っている。

三、今後の展望
本年の深町は再度Bクラスの壁にはね返されたが前回の様に圧倒的な力の差を見せ付けられ、意気消沈する状況ではなく僅差の惜敗であった。このことは大いに自信と勇気を与えてくれたが、又、より一層の練習をしないとBクラス定着は困難となることも判ってきたと言えよう。

今後はBクラス定着のために、早期の準備とより多くの練習が必要という反省会での多数の発言を実行に移すことが肝要である。

市民体育大会での好成績は、町民全体の自信となるが特に、深町の将来を担う子供達が大いに自信を持ち、地域的なコンプレックスを排除して、万事に積極的に取り組んでくれるならばこれ以上の喜びはないであらう。